

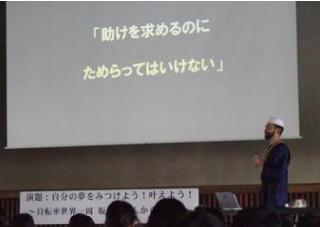


令和7年度 学校だより  
**城南っ子**

〔学校教育目標〕  
自律的に学び、認め合い、  
ともに成長しようとする児童の育成  
○自律的に学ぶ子 ○仲間を大切にする子 ○心身ともに健やかな子

那覇市立城南小学校  
令和8年1月16日  
第39号  
文責：校長 田島正敏

**授業参観・教育講演会へのご参加ありがとうございました**



アフリカの民族衣装で登場の坂本達氏。ある部族のおもてなしのごちそうであるイモムシ。少しためうったものの、思い切って食べたことで、部族のみんなが心を開いて喜んでくれたそうです。おもてなしの心を大切にしたことがよかったです。

書籍の販売「やった。」「ほった。」「100万回のありがとう」とDVDがありました。学校の図書室にもあります(サイン入り)。是非読んでみてください。

9日(金)の授業参観・教育講演会はご来校ありがとうございました。前号で紹介しました教育講演会の坂本達さんのお話がとてもよかったです。感謝を受けたところを少しだけ紹介します。

幼少期は人前に立つのが苦手、引っ込み思案であった達さん。そんな達さんは、学校でのいじめ、孤独。出口のない暗闇の中にいました。そんな時、お父さんは「その繊細さは、危険を予知し、文化を慈しむ力だ」と新たな光をくれました。この言葉を機に、達さんは「世界一周」という壮大なチャレンジを人生の目標に据えたそうです。

社会人になり、世界一周の予算 1,000 万円という壁にぶつかっても諦めませんでした。手書きの企画書を 30 社以上の社長へ送り届け、会社に出向きました。その熱意で多くのスポンサーを動かし 1,000 万円を調達したのです。それを知ったミキハウス社長も、会社を辞めて旅立つ決心をした達さんに無期限の有給休暇(会社を休みながら給料をもらう)与えるのでした。自ら動けば、誰かが応援してくれる。この実感がより確信へと変わったそうです。

旅の途中、マラリアで命の危機に瀕した達さんを救ったのは、ギニアの小さな村の「最後の一本のワクチン」でした。

私が特に印象に残ったのは、アラスカの旅の話でした。アラスカでは猛吹雪の中を自転車でこぎ進めました。人や民家もほとんど見当たらない道をひたすら進むのです。日が落ちかけたときやっと見つけた1軒の家。煌々と明かりが灯っています。吹雪の中で体力の限界を感じ、家の前まで来たとき「ピンポーン」と呼び鈴を鳴らして助けを求めるか迷ったそうです。しかし、そこで思ったことは「まよったら、やる!」ここで助けてもらわなかったら、この先何十キロ先に民家があるか分からぬ。その前に凍えて死んでしまうかもしれない。だめで元々、受け入れてくれたラッキーと思い、思い切って呼び鈴を押したそうです。すると大きな男の人が温かく迎えてくれたそうです。この人から「達がこの村に来たときからみんな知ってる。みんなが応援している。助けたいと思っている。ためらわず助けを求める」のことばを胸に4年3ヶ月の旅を続けたそうです。

帰国後、恩返しのためにギニアの井戸を掘ろうと決めた時、達さんには知識も資金もありませんでした。しかし、「まずは動くこと」。その一步が、共感の輪を広げ、不可能を可能にしたのでした。

「今の苦しみは一生は続かない」。自分だけの持ち味を信じ、勇気を持って一歩踏み出すこと。そのチャレンジの積み重ねが、想像もしなかった未来を切り拓く原動力になるのです。

子供たちが本講話で「まずは、やってみよう!」と何でもチャレンジという気持ちになってくれたらいいなあと思いました。続いて、児童の感想を載せておきます。

・今日学んだことは、自分の夢を大切にするということです。私は自分の夢は自分が達成してできるようになってやっと信じたりするんだろうなと思い、自分の夢をあまり人に言ってきませんでした。だけど、私が友達に自分の夢を言うと、応援してくれてとてもうれしかったです。それに失敗したことない人はチャレンジをしたことがない人だと知り、私はとてもうれしかったです。なぜならたくさん失敗したからです。今日はありがとうございました。

5年 わかなさん

・坂本達さんの話を聞いて、一番大切なのは夢を見続けることだと思いました。他の人に笑われたり、ばかにされたりしたからといって、夢を壊すことが一番もったいないと思ったからです。また、叶えるためには、待っているだけじゃなくて自分から行動することが大事で、人に助けてもらいたいときには、ためらわずに話すことが大切だと分かりました。夢を実現するには、自分のないところばかりを見て考えずに、自分にしかできないところを見て、まずはやってみることがキャリアにとって大切なことと教えてもらいました。夢は変わったりするけれど、そのたびに全力で行動できるようにしたいです。

6年 あんなさん

・坂本達さんの話を聞いて「ものの見方を変える」ということがやっぱり大事なんだなと思いました。さらに、やってみないと分からないこともあるし、小学校から夢があって、ばかにされても夢を追い続けたのが尊敬するしかっこいいなと思いました。これからは、ものの見方を変えたり考えすぎずにやってみたり、いろいろなことをやったりして、今年で夢を見つけて挑戦する年にしたいです。

6年 はるさん

・坂本さんが小学校の頃から目指していた自転車世界1周の夢を叶えられたことがすごいなと思いました。ぼくもたくさん夢を作りたくさん叶えてみたいと思いました。自転車で世界1周は難しいと思っていたけど本当にその夢を叶えた人がいると思うとすごいなと思いました。ぼくも、だれもまだできていないことに挑戦していきたいと思いました。また、世界中の人と関わっていきたいとも思いました。いろいろな人に支えられて自転車で世界1周できたことがすごいと思いました。

6年 こうがさん



**読み聞かせ ありがとうございます**

13日(火)に今年初となる「読み聞かせ」が行われました。低学年では新年にふさわしい十二支のお話やお正月のお話などを読み聞かせしていただきました。時節に応じた題材を取り上げていただきありがとうございます。